

核心地域 — 生物多様性を保全する地域 —

- ・西の瑞牆山から東の雲取山まで、奥秩父主稜の亜高山帯が連なる源流の地
- ・首都圏に近接しながら、生物多様性に富む、自然環境が保全される地域



甲武信ヶ岳



信濃川(千曲川)源流(川上村)



高山チョウなど希少種の宝庫



豊富なカエデ類

緩衝地域 — 核心地域のバッファー、学術的研究支援を行う地域 —

- ・地域資源を活用したエコツーリズムや環境学習の推進の場
- ・急峻な谷と山岳が生む、渓谷美、景観



御岳昇仙峡(甲府市・甲斐市)



西沢渓谷(山梨市)



多摩川源流大学(小菅村)



ユネスコスクール(甲府市)

移行地域 — 経済と社会の発展を行う地域 —

- ・地域資源を活用した農産物や伝統工芸品の生産等の経済活動
- ・伝統文化の保全・継承



一之瀬高橋の春駒(甲州市)



秩父夜祭(秩父市)



三峯神社(秩父市)



大露頭 ようばけ(小鹿野町)



浅尾ダイコン(北杜市)



きおび編み(小菅村)



ブドウ畑(山梨市ほか)



薪ボイラー のめこい湯(丹波山村)

甲武信ユネスコエコパーク推進協議会

埼玉県、秩父市、小鹿野町、山梨県、甲府市、山梨市、北杜市、甲斐市、甲州市、小菅村、丹波山村、長野県、川上村

■事務局
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号
(山梨県森林環境部みどり自然課内)
TEL:055-223-1522 FAX:055-223-1507
E-mail:midori@pref.yamanashi.lg.jp



この製品は、FSC®認証材および管理原材料から作られています。



■やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、FSC®森林管理認証を取得した山梨県有林からの木材が使用されています。
やまなしの県有林は、森林管理認証を取得し、世界的な規準で豊かな森づくりを行っています。



四大河の源流域

こぶし 甲武信

ユネスコエコパーク

Kobushi Biosphere Reserve

日本で10カ所目のユネスコエコパークとして新たに登録されました



富士川(笛吹川)源流

荒川源流

信濃川(千曲川)源流

多摩川源流

ユネスコエコパークとは

生物圏保存地域(ユネスコエコパーク, Biosphere Reserve:BR)は、ユネスコ人間と生物圏(MAB:Man and the Biosphere)計画の枠組みに基づいて、ユネスコによって国際的に認定された地域です。

世界遺産が、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的とする取組です。

世界のユネスコエコパークの登録総数は、122 国 686 地域です。(2018 年 7 月現在)

国内登録地：10地域(2019年6月現在)

志賀高原(長野県、群馬県)、白山(富山県、石川県、福井県、岐阜県)、大台ヶ原・大峯山・大杉谷(奈良県、三重県)、屋久島・口永良部島(鹿児島県)、綾(宮崎県)、只見(福島県)、南アルプス(山梨県、長野県、静岡県)、祖母・傾・大崩(宮崎県、大分県)、みなかみ(群馬県、新潟県)、**甲武信(山梨県、埼玉県、長野県、東京都)**

ユネスコエコパークは、豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す地域のモデルとして注目されています。

ユネスコエコパークの仕組み

3つの機能

① 保存機能 (生物多様性の保全)

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域であること。

② 学術的研究 支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

③ 経済と社会の 発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取組が行われていること。

それぞれの機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。
この3つの機能をはたすために3つの地域を設定しています。

核心地域

厳格に保護
長期的に保全

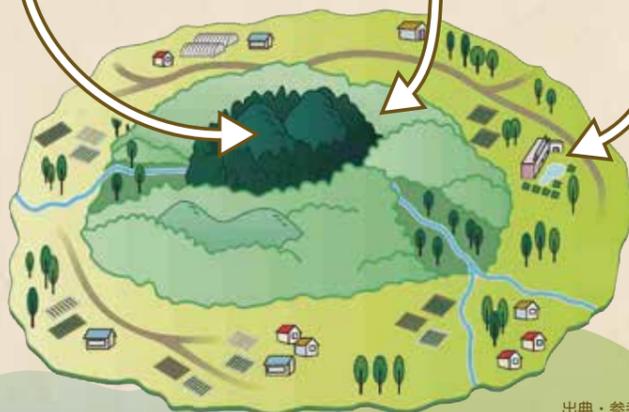
緩衝地域

核心地域保護のための
緩衝的地域
教育 研修 エコツーリズム

移行地域

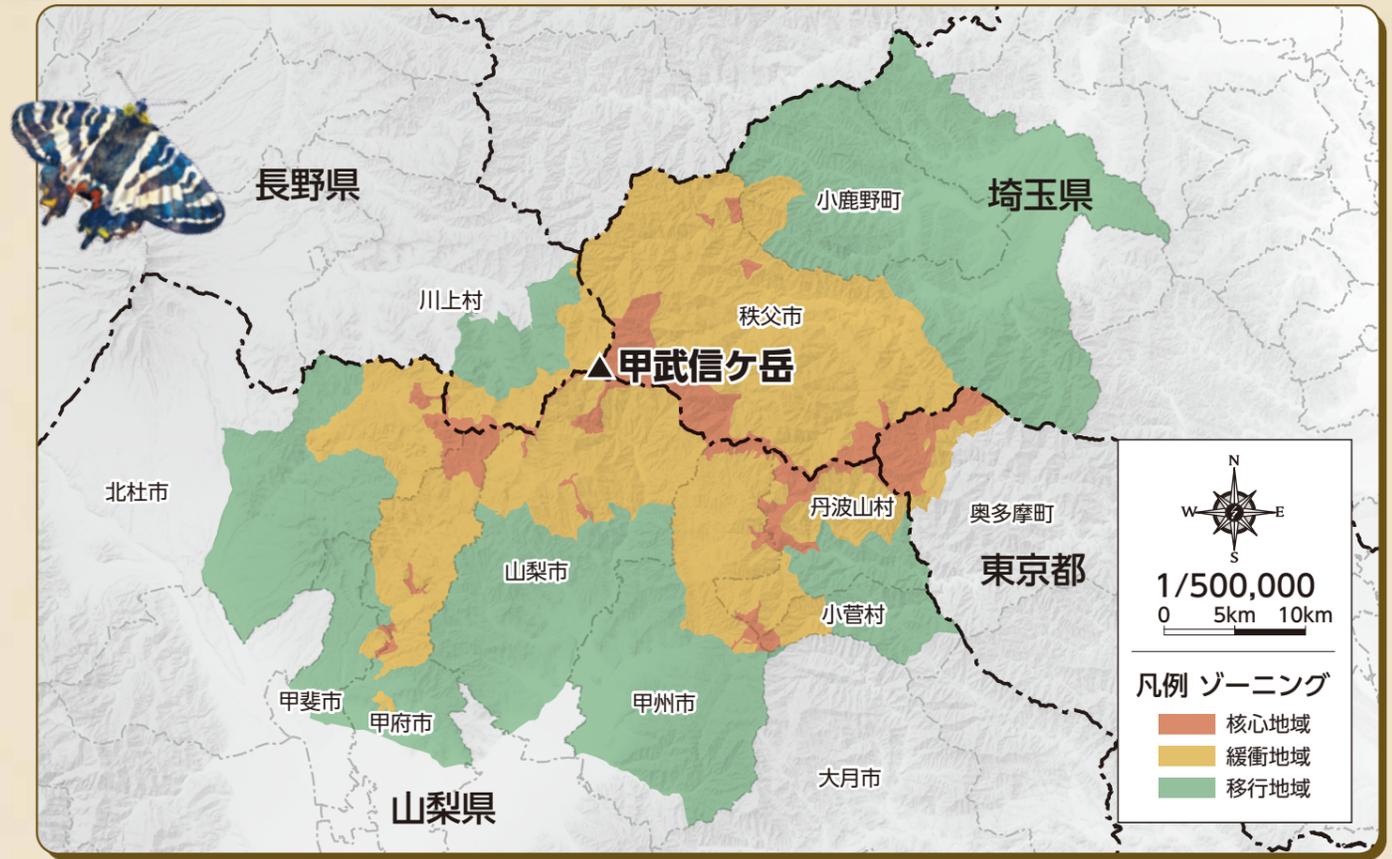
人が生活し、
自然と調和した持続可能な
発展を実現する地域

3つの地域 (ゾーニング)



出典・参考：日本ユネスコ国内委員会(2018)
「ユネスコエコパーク-自然と人の調和と共生-」

甲武信ユネスコエコパークエリアマップ



特徴

- ・甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山等の日本百名山に挙げられる山々が連なる奥秩父主稜を中心に、荒川、多摩川、富士川(笛吹川)、信濃川(千曲川)源流部及びその周辺地域をエリアとしている。
- ・この地域は、山岳や森に加えて御岳昇仙峡等の渓谷が、四季折々に彩りを変える日本ので素朴な美しい自然に恵まれており、首都圏近郊にありながら、連続性があり、生物多様性に富む、貴重な生態系が広く保全されている。
- ・古来人々を楽しませてきた民俗芸能が保全・伝承され、山岳・神社信仰にまつわる多様な文化が、今もなお息づいている地域でもある。
- ・山肌を覆う深い森は、首都圏や周辺地域の水源域として古くから守られてきており、現在でも上流域と下流域の水の繋がりを意識して、森づくりや自然保護等に取り組む団体や事業者、地域住民も多い。

ゾーニング

- ・総面積 190,603ha
- ・核心地域(13,364ha)
主に秩父多摩甲斐国立公園の特別保護地区と第一種特別地域を設定
- ・緩衝地域(70,858ha)
主に秩父多摩甲斐国立公園の第二種、第三種特別地域、普通地域を設定
- ・移行地域(106,381ha)
主に秩父多摩甲斐国立公園区域外の居住区を設定

